

# ハーマニー だよ



第88号

令和2年6月1日発行

医療法人 明医研 広報誌



医療法人  
明医研



WARM & RELIABLE

- 緑 区 ハーマニークリニック  
れんけい訪問看護ステーション  
明(めい)サポートヘルパーステーション
- 南 区 デュエット内科クリニック  
ケアメイト訪問看護ステーション
- 中央区 アトリエ訪問看護ステーション

『苦労の夏を迎えて』



医療法人 明医研  
理事長 中根 晴 幸

ここ数カ月、日本の各地からは繰り返して、新型コロナウイルスによる感染・侵襲についての報道がなされました。多くの人々が社会生活の中でさまざまな苦労に出会い苦しんで来られました。今年の始めには全く思ってもみなかったことです。

こうした報道の中で、一つの問題は人々と病原菌との共存に至る筋道が明確に見えないことですが、次第に報告される中で、ウイルスの毒性抑制効果を期待できる薬物使用が認められてきました。しかし現在のところ有効なワクチンが広く得られるまでは期待できないようです。

高齢者から若年児に至るまで、また生活の隅々に至るまでは、病原体に負けないように注意しましょう。ハーモニークリニックでは中井秀一副院長をリーダーとして【COVID-19 (コビット19) 対策プロジェクトチーム】が結成され、また同様にデュエット内科クリニックでは大和康彦院長を中心に、それぞれクリニックと訪問看護・訪問介護のスタッフ全員が協力して安全な医療提供と感染防止に努めています。

皆さんがこの新型コロナウイルスからそれぞれの身を守るように、地域で得られる最善の手段を研究し、努力する所存です。

今回のウイルス感染が全世界に被害を及ぼしたことは、特に高齢者にとつては大きな脅威でした。ヨーロッパでも都市によって酷い被害があるとの情報に小生、3月以降は不安に取りつかれていました。明医研の開設以来の恩師、パリのメナール先生は今年80歳になられるが、ただの高齢ではなく5年前に大変な手術を受けられている身。この2月以降は連絡もなく、3月、4月も気にはなつたが連絡を取る勇気がない。結局先生の方から弟子の自分あてに安否確認のメールを送ってくださいました。お互いに、無事なことをただ嬉しく思いました。

幸いに5月下旬まで、明医研では重症のウイルス症例を認めず、関係者並びに職員の感染例もなしとの報告でした。さらに治療内容を充実して、地域の方々のお役に立ちたいと思っています。



『後悔先に立たず』



デュエット内科クリニック  
院長 大和 康彦

3月父が永眠した。享年70歳。3年間の悪性疾患での闘病を経ての最期であった。晩秋からは自宅での療養も困難になり、当院が訪問診療で関わることのできる施設へ移り、木村淑子先生に主治医をお願いした。亡くなる当日には最後の力を振り絞り、1時間にわたり遺言を託された。そして夜間に苦しみ表情なく永眠、私が最期を看取った。正直難しい親子関係ではあったが、町工場を経営しながら、医学の道に進むことを陰ながら一番に応援してくれた父。私が大の旅行好きなのは父譲りだろう。私に残る想いは、ただ「きちんと親孝行できなくて申し訳なかった」という後悔の念のみ。在宅医の道に進んだ息子に看取られたことだけが、唯一してもらえた親孝行だったかもしれない。合掌。

表紙写真紹介

- ① 明医研の取材風景 (関連記事P7)
- ② ドクターカンファレンス (デュエット内科)
- ③ 訪問診療出張前に  
(高橋毅医師と外来看護師)
- ④ アトリオ前で理学療法士4人 (関連記事P5)

## 『コロナで炙り出された依存症』



医療法人 明医研  
内科 市川 家 國  
特任医師

「ステイホーム」や「休業のお願い」がコロナ禍の中であちこち叫ばれる中、衆目の注意は、頑固に開店を続けるパチンコ店のニュースに集まった。駐車場は満杯で、県外からもやってくる。開店前に並ぶ長蛇の列はテレビカメラも何のその。私が思い出すのは、若き頃、深夜になって煙草が無いことで不安になり、開いた店を探して歩き回った時。つまり、これ全て依存症。わが国の多くの依存症（ギャンブル依存症、アルコール依存症、ニコチン依存症など）は大半が放置されたまま。そう言えば、先進国には珍しくアルコールのテレビ広告は制限なし。その上、4人のうちの3人は自覚を欠くか、自己欺瞞中。そもそも世間は依存症を「病氣」とは扱わない。まず、大麻や覚せい剤を犯罪と見るのは警察ばかりではない。人々は週刊誌を読んでセレブの逮捕を祝う。ニコチン依存症の方も一緒に。一方、アルコール依存症には日本は至って寛容というのが海外からの評価だ。なるほど、死亡事故を起こした人物が飲酒運転で複数回の逮捕歴がある、などと

いうニュースに出くわす。

というわけで、私は開店しているパチンコ店を求めて県境を越える人々には同情的だ。依存症は鼻風邪とは違って外部からの助けが無くては治らない。私の場合もそうであった。米国の大学病院に勤務していたある日、突然、「職員の喫煙場所は、病院玄関先に限る」との通達。20年以上喫煙を続けていた私が禁煙できたのはこの通達のおかげ。寿命はかなり延びそうだ。

## 『熱中症に注意』

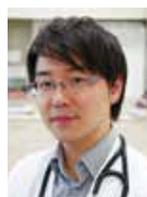


ハーモニークリニック  
副院長 市川 聡 子

今年も熱中症対策が欠かせない、暑い夏がやってきました。今年はマスクをつけることが多くなっていますが、マスクで顔の半分が覆われ、熱がこもりやすくなるため、熱中症にならないよう、より注意が必要です。薄着を心がけ、帽子・日傘を活用し、熱がこもらないようにしましょう。保冷剤を上手に使い、首元や脇の下などを冷やしましょう。こまめな水分補給は例年のごとく欠かせませんが、その際のマスクのはずし方にコツが必要です。手で目・鼻・

口を触らぬよう、耳にかけているゴムを持って、そっとマスクをはずしてください。熱中症対策をしっかりとって、上手に夏を乗り切りましょう。

## 『例年以上に警戒を』



医療法人 明医研  
医局長 松 林 洋 志

熱中症と思われる病状であっても、病院はコロナを念頭に置いた対応をせざるを得ない状況にあります。初療段階で見分けることは困難です。これまで手際良く診療できていた熱中症でも、事前に相応の準備や装備が必要となり、時間も人的資源も検査も要するでしょう。熱中症が多発すれば救急外来は崩壊しかねません。これまで以上に熱中症予防に努めなくてはなりません。換気はどうしても熱気を招きます。マスクは熱をこもらせる一因となるし、加湿効果のため口渇を感じにくくなる危険性も孕んでいます。最近の活動量低下による筋量減少も脱水や熱中症重症化のリスクです。感染予防に努めつつ、適温・除湿・定時的飲水を心掛け、熱中症ゼロの夏を目指しましょう。

『フェイクニュースを見極める

「だしいりたま」』



ハーモニードクリニック  
医師 高橋 毅

新型コロナウイルス感染症をめぐって、医学的根拠の乏しい情報が数多く出回っています。特に日中のワイドショー番組は酷いもので、とにかく視聴者の不安を煽ることに主眼がおかれているのでは？と思わざるを得ない内容も多々あります。先日NHKの特集で、フェイクニュースに惑わされず情報を見極めるためのポイントが紹介されていました。 <https://www.nhk.or.jp/gendai/comment/0010/topic039.html>

①「だ」＝誰が言っている？ その情報発信者は本当に専門家でしょうか？医師であっても専門分野が分かれています。

②「し」＝出典はある？ たとえ専門家であろうと、出典がなければ「あくまで個人的な意見に過ぎない」と考えることも必要です。

③「い」＝いつ発信された？ 医療情報は日進月歩。研究の結果「実は間違いだった」とわかることもあります。

④「り」＝リプライ欄にどんな意見がある？ TwitterなどのSNSでデマ

が拡散することも多いのですが、リプライ欄を見ると、専門家がデマを否定していることが簡単にわかることもよくあります。

⑤「た」＝たたき（攻撃）が目的の投稿ではないか？ 自分が好きでないと思っていた人が批判を浴びていたとして、情報の正しさよりも「拡散したい気持ち」が優先されていくことがあります。

⑥「ま」＝まずは一旦保留しよう。見つけた情報はすぐに友達に教えたり、リツイートしたくなるものですが、一旦保留してみませんか。実は間違っているかもしれせん。

⑦「ご」＝公的情報は確認した？ 自力で複数の情報を調べるのがベストですが、なかなかできる人は限られます。そんな時は多くの専門家のコンセンサスである公的情報が最も安全ではないでしょうか？

『笑いと免疫力』



医療法人 明医研  
消化器内科 木村 淑子  
特任医師

テレビやネットでコロナウイルスの話題ばかり見ていると不安が募ります。見すぎないように気を付けても、自粛・テレワーク・休校など終息までの先の見通せない閉

塞感が続いてストレスが長期化すると免疫力も下がります。このようなときこそ、笑って心を解きほぐしましょう。漫才や落語など積極的に笑うことで抑うつ気分や緊張・疲労が改善し、免疫力が上がったというデータがあります。爆笑でなくても、鏡の前で作り笑いや愛想笑いをするだけでも、脳に楽しい気分を導く効果があるようです。ちなみに、私のお気に入りには「8時だヨ！全員集合」のDVDと「笑点」の再放送（桂歌丸師匠の頃のもの）です。

『在宅医療』



デュエット内科クリニック  
医師 蘇原 映碩  
そはら えいせき

はじめまして。4月から勤務しています蘇原映碩と申します。これまで大病院で総合内科医として働き、その後、内科小児科クリニックで診療を行って参りました。

今回コロナ禍で医療崩壊や病院の受け入れ可能なベッド数が問題となっていますが、自分が病院勤務していた10年程前から毎年患者数が増える冬場の何日かは満床で救急患者の受け入れが出来ない状況でした。

今後、高齢人口の急激な増加も含め在宅医療の重要性がより増してくるのではと思

ます。通常の外来診療以外に在宅の場でも地域の皆様の健康のために貢献できればと思います。

各部門から

『楽しい家庭菜園』



れんけい訪問看護ステーション  
訪問看護師 武笠 安代

クリニック2階のれんけい訪問看護ステーションで訪問看護師をしています。周囲の皆さん方に助けて頂き、今でも元気に仕事を続ける事ができています。職場では最年長で、この前還暦のお祝いにティーシャツのプレゼントをいただき、大変感激しました。いつまでも楽しく、成長し合えるこの職場が大好きです。

私は、荒川沿いにある畑で家庭菜園をしています。小さな種が芽を出して、大きくなるのを見てみると、とつても嬉しくなります。週末には、一日中いてもやる事が沢山あるので、時間を忘れて没頭してしまいます。蒔いた種が出てこなかったり、植えても枯れてしまったり、虫に食べられたりしますが、どれも愛しく感じます。私の畑の



周りにも、多くの家庭菜園を楽しんでいる高齢の方々がいます。その様子を見てみると、年を重ねても体を動かして楽しむ事の大切さを実感しています。今年も、夏野菜を植えました。枝豆の芽が出たか、今日も畑の様子を見に行こうと思います。

『PTのご紹介』



アトリオ訪問看護ステーションでは、【理学療法士（以下「PT」という）】4名（男性3名・女性1名）により訪問のリハビリテーションを提供しています。さいたま市南部（中央区・桜区・浦和区・南区・緑区）を中心に、脳卒中や神経疾患など様々な疾患に対応しています。今回は、最近入職された2名のPTをご紹介します。

写真（右）の野村晃裕PTは、脳卒中を中心とした病院で9年間のキャリアがあり、日本理学療法士協会が認定しているPTの専門性をより高めた【認定理学療法士（脳卒中）】の資格を取得しています。

写真（左）の岡島清美PTは、17年間の【介護福祉士】・【介護支援専門員】のキャリアを活かして、心身の「癒し」を提供できるPTを目指しています。

今後も、明医研の先生方や地域の先生・

看護師・介護支援専門員など多職種連携を図り、より良いリハビリテーションを提供します。

（アトリオ訪問看護ステーション

管理者 中島悦子）

明医研 ニュース

●発熱やせき・息切れ、強いだるさ（倦怠感）などの症状があり、新型コロナウイルスの感染が疑われる方は、当院へ直接受診する前に、必ず最寄りの帰国者・接触者相談センターもしくは医療機関に電話で相談し、指示を受けていただきますようお願いいたします。

（※詳細は明医研ホームページ掲載）  
●新型コロナウイルスを含む感染症対策として、ご来院の際は必ずマスクを着用の上お越しいただきますようお願いいたします。

新入職員紹介

- ハーモニッククリニック  
外来看護師 小林 幸恵（こばやし さちえ）  
デュエット内科クリニック
- 外来看護師 星 あい子（ほしあいこ）  
医事科 近田 裕美（こんだ ひろみ）
- れんけい訪問看護ステーション  
訪問看護師 泉川 亜紀（いずみかわ あき）  
ケアメイト訪問看護ステーション
- 事務 田中 千尋（たなか ちひろ）  
アトリオ訪問看護ステーション
- 理学療法士 野村 晃裕（のむら あきひろ）

なるほど健康講座

『明医研の在宅医療』



ハーモニークリニック  
副院長 中井 秀一

【はじめに】

執筆時5月某日、コロナウイルスにより地域の入院対応が困難な状況が発生しております。在宅医療の重要性を改めて強く感じています。今回は当院の在宅医療についてお話ししたいと思います。

1992年に第二次医療法改正において『居室』が『医療提供の場』として位置づけられました。1998年に24時間の往診体制の評価、2000年に介護保険制度施行。以後民間からも多くの在宅介護支援サービスが生まれ発展しています。

明医研は、医療人として温かく、確かな知識と技術で信頼に足る医療・ケアの提供を理念に、1995年よりチームで総合的な外来診療と在宅医療を地域に根差して実践しています。

【在宅医療とは】

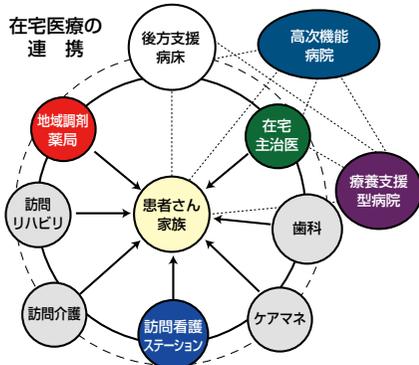
病気や障害で自宅療養される方に、その人らしく療養生活を送れるように、軽症から重症、年齢問わず幅広く対応し、継続的に多職種で責任を持って自宅で医療・ケア

を行います。

在宅医療には、①病院医療の継続、高度医療など医療の進歩への対応 ②生活・介護・リハビリの日常的支援、施設入所者対応など変わりゆく社会情勢への対応の2つの分野があります。

【多職種連携】

在宅医、訪問看護（看護、医療処置、リハビリ、24時間対応と幅広く対応）、薬局（調剤・薬剤管理指導、残薬整理、病状・療養状況の情報提供などの対応）と、在宅医療を支援する病院との連携を中心に、ケアマネジャー、訪問リハビリ（自宅の快適な生活のために、指導、機能訓練を行う医療・保健・福祉に関する活動 \*ハーモニーだより



【対応事例】  
緩和ケア（癌、非癌による、疼痛、吐き気、呼吸困難などの症状緩和に努め、自宅

で可能な限り苦痛なく希望に沿った生活を支援。施設でも対応。後方病院とも連携）、近年増加の認知症、神経疾患、消化器、呼吸器、循環器、腎・泌尿器疾患、老衰、廃用症候群、褥瘡、感染症、整形外科・筋骨格系疾患、重症心身障害児（成長の支援と、個々の医療依存度に合わせた対応）など。

【在宅で行う主な処置】

点滴、中心静脈栄養・経腸栄養対応（経口摂取のみで必要栄養量を満たせない方を家庭や社会へ復帰させるための方法）、経鼻経管交換、胃瘻交換、気切チューブ交換、褥創・創傷処置、尿カテ・膀胱瘻交換、胸水・腹水穿刺、膝・肩関節注射、トリガーポイントなど多くの処置に対応します。

【教育】

在宅医療は、入院、外来につぐ第三の医療ですが、学ぶ機会はまだまだ少ないです。当院でも、未来の在宅医療発展のために研修生が見学させて頂くこともあり、利用者の皆様にはいつもご理解頂き感謝申し上げます。

【最後に】

我々は、外来診療とも一貫性を持ち、どのような疾患、環境でも継続的に多職種で温かく積極的に関わり、常に皆様にとって最適な在宅医療の提供を今後も実践していきます。

法人本部より

明医研の地域医療の取り組みが  
雑誌で紹介されました。

明医研が取り組む地域医療やチーム医療等の取り組みについては、頻繁に雑誌などのメディアに取り上げていただいています。

この度、雑誌「リクルートドクターズキャリア」からの取材依頼があり、明医研より中根晴幸理事長、大和康彦先生、中井秀一先生、市川聡子先生、松林洋志先生が登場しました。

現代社会において、また今後一層高齢化が進展する中で「かかりつけ医」に求められること、その在り方をテーマに取材いただきました。



取材風景より

今回雑誌社のご了解をいただき、明医研ホームページでも本記事を紹介しています。  
<http://meiken.or.jp> 「お知らせ」の欄からご覧ください。

今回掲載された雑誌情報

■ 雑誌

「リクルートドクターズキャリア」

2020年5月号

(株)リクルートメディアカルキャリア発行

■ 特集記事

令和を進むかかりつけ医のあり方

「地域密着のクリニックより多職種連

携と総合診療医によるチーム医療が

病院から安心して送り出せる」地

域医療を支える」  
(6ページ〜7ページ)



メディア・雑誌掲載情報に加え  
様々な取り組みをホームページ・  
フェイスブックで紹介しています

明医研のホームページでは、今回の記事に

加え過去に取材を受けた記事内容も一部掲載

していますので、是非併せてご覧ください。

また、メディア取材だけでなく、学会発

表や外部からの研修・実習等の受け入れ

(医学部生、研修医、外部からの各種視察

受け入れ協力、講演)などの取り組みを行

っています。ホームページではその内容も

掲載しています。

<http://meiken.or.jp/for-doctors/activity>

引き続き地域の皆様への情報発信を積極  
的に行ってまいりますので、ご関心を持っ  
ただければ幸いです。



明医研ホームページ



フェイスブックでも情報発信しています

ご案内

医療法人 明医研 常勤医師 中 根 晴 幸 (理事長・ハーモニークリニック 院長)  
 大 和 康 彦 (デュエット内科クリニック 院長)  
 市 川 聡 子 (ハーモニークリニック 副院長)  
 中 井 秀 一 (ハーモニークリニック 副院長)  
 松 林 洋 志 (明医研 医局長)  
 高 橋 毅 毅 (ハーモニークリニック 内 科・総合内科)  
 準常勤医師 蘇 原 映 碩 (デュエット内科クリニック 内 科・総合内科)  
 特任医師 市 川 家 國 (ハーモニークリニック 内 科・小 児 科)  
 特任医師 木 村 淑 子 (デュエット内科クリニック 内 科・消化器内科)



〒336-0918 さいたま市緑区松木3-16-6

TEL 048-875-7888

※松ノ木東公園バス停下車徒歩 1 分

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00~12:30	○	○	○	○	○	1時まで	休
午後2:00~ 6:00	○	○	○	○	○	休	休

午前 受付 8:30~12:00 (土曜日は12:30) 午後 受付 1:30~5:00  
 【休診日】 土曜日午後・日曜・祝日

- 診療内容
    - 内 科
    - 呼吸器内科
    - 消化器内科
    - 小 児 科
    - 総合診療科
  - 専門 外来
    - 神経内科
    - 整形外科
    - 血液内科
- 予約診療

〒336-0021 さいたま市南区别所6-18-8

TEL 048-866-7350

※武蔵浦和駅より徒歩 5 分 ※臨時駐車場もございます。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	1時まで	休
午後2:30~ 6:00	○	○	○	○	○	休	休

午前 受付 8:30~11:30 (土曜日は12:30)  
 午後 受付 2:00~5:00  
 【休診日】 土曜日午後・日曜・祝日

- 診療内容
    - 内 科
    - 消化器内科
    - 総合診療科
  - 専門 外来
    - 神経内科
- 予約診療

●れんけい訪問看護ステーション (ハーモニークリニック2F)

TEL 048-875-7898

訪看管理者 金久保 麻紀子  
 居宅管理者 配 島 聡 一

●明(めい)サポートヘルパーステーション (ハーモニークリニック2F)

TEL 048-875-7874

管 理 者 小松原 友 博

●在宅療養相談センター さいたま南  
 TEL 0120-373-173(無料)  
 センター長 舟 津 和 江

●ケアメイト訪問看護ステーション (デュエット内科クリニック2F)

TEL 048-866-7351

訪看管理者 鷹 羽 佳 美  
 居宅管理者 高 橋 紀 子

●みるくる24(定期巡回) (ハーモニークリニック2F)

TEL 048-767-3101

管 理 者 舟 津 和 江

●アトリア訪問看護ステーション さいたま市中央区上峰4-8-18

TEL 048-762-3623

訪看管理者 中 島 悦 子  
 居宅管理者 本 橋 和 美

※明医研の訪問看護ステーションは 居宅介護支援事業所を併設して います。

電話受付時間 平日 9:00~17:00 土曜 9:00~12:00

e-mail: soudan@meiiken.or.jp

- 明医研ホームページ — <http://meiiken.or.jp/>
- e-mail(代表) — [info@meiiken.or.jp](mailto:info@meiiken.or.jp)
- Facebook — <http://facebook.com/meiiken/>

発行  
 医療法人 明 医 研  
 さいたま市緑区松木3-16-6  
 TEL 048-875-7888  
 FAX 048-875-7885